

ミスミグループ本社 2016年3月期 第1四半期 連結業績

～ 四半期決算として過去最高の売上高を更新 ～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2016年3月期 第1四半期（2015年4月1日～2015年6月30日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

（百万円）	2015年3月期 第1四半期	2016年3月期 第1四半期	増減率
売上高	48,114	57,129	+18.7%
のれん等償却前 営業利益 ※1	7,078	6,810	-3.8%
営業利益	6,520	6,183	-5.2%
純利益	4,087	3,801	-7.0%
1株当たり純利益 ※2	14.98円	13.87円	

※1 Dayton Lamina Corporation 買収にかかるのれん・その他無形固定資産の償却前営業利益

※2 2015年7月1日付で、当社株式1株につき3株の割合で株式分割を行いました。

前年同期についても期首に当該株式分割が行われたと仮定し数値を算定しています。

<2016年3月期 第1四半期の連結業績ハイライト>

1. 日本や中国における自動化需要の取り込みやVONA事業の積極展開により、売上高は四半期として過去最高を更新

- 2016年3月期 第1四半期の売上高は571億円、前年同期比18.7%の増収となり、四半期決算として過去最高を更新しました。
- 日本経済は、政府主導の経済政策などによる円安や株高などが継続する中、全般的に緩やかな回復基調で推移しました。海外では、欧米で景気回復が続く一方、中国で景気の拡大テンポが一段と緩やかになり、アセアン地域は総じて景気減速が続きました。
- こうした環境下、当社グループは、高品質、低コスト、確実短納期を実現するミスミQCTモデルの絶えざる進化に取り組んでいます。製造業の自動化需要の拡大や短納期ニーズの高まりを受け、受注・生産・物流のプロセス革新を図ることで、受注製作品の国内標準納期を3日から2日へ短縮し、顧客に高い利便性を提供しました。さらに、事業の国際化に合わせたオペレーションレベルを向上させるため、海外各拠点への新基幹システムの導入やウェブカタログの刷新等のEC基盤の強化に取り組んでいます。また、FA事業においては、グローバル確実短納期化をさらに推進するため、ベトナム第4工場の建設に着手し、日本・中国・ベトナム3極生産補完体制の整備に努めました。
- この結果、売上高は新たな自動化需要・金型需要を取り込んだFA事業や金型部品事業および積極的な営業展開を実施したVONA事業の成長が増収を牽引しました。
- 利益については、積極的な事業拡大に向けた人材強化やEC基盤拡充などの費用増加等により、営業利益は61億円（前年同期比-5.2%）、純利益は38億円（同-7.0%）となりました。

- なお、連結業績予想につきましては、2015年5月14日に公表しました数値を据え置いております。今後も積極的な事業拡大と事業基盤の拡充を継続し、売上高、利益ともに前期に引き続き過去最高を更新する見通しです。

2. 全セグメントで2ケタ増収

- 2016年3月期 第1四半期のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

(百万円)	2015年3月期 第1四半期	2016年3月期 第1四半期	増減率
F A事業	23,796	27,270	+14.6%
金型部品事業	15,147	17,409	+14.9%
VONA事業	10,734	14,054	+30.9%
小計	49,678	58,735	+18.2%
調整額(期ズレ等)	-1,563	-1,606	-
合計	48,114	57,129	+18.7%

- F A事業においては、新たな自動化需要の積極的な取り込みなどにより、日本と中国での販売拡大が寄与し、前年同期比14.6%の増収となりました。
- 金型部品事業は、主に中国や欧州における販売伸長により、前年同期比14.9%の増収となりました。
- VONA事業は、取扱いメーカー数の継続拡大により実現した生産間接資材分野で最大の品揃えを武器に、積極的な販売拡大を推進した結果、前年同期比30.9%の大幅増収となりました。

3. 海外売上高比率は46.9%（前年同期比+1.5pt）に上昇

- 2016年3月期 第1四半期の海外売上高は268億円(同+22.8%、現地通貨ベース+8.8%)、海外売上高比率は46.9%（同+1.5pt）となりました。
- 地域別売上高は、以下の通りです。

	売上高(百万円)		増減率	
	2015年3月期 第1四半期	2016年3月期 第1四半期	円ベース	現地通貨 ベース
日本	26,278	30,307	+15.3%	-
海外	21,836	26,821	+22.8%	+8.8%
中国	6,114	8,098	+32.5%	+16.9%
アジア	6,509	7,615	+17.0%	+4.4%
アメリカ	5,730	7,041	+22.9%	+4.0%
ヨーロッパ	2,599	2,915	+12.2%	+10.9%
その他	882	1,150	+30.4%	+10.4%

- 日本では、拡大する確実短納期ニーズに応えながら、自動車およびエレクトロニクス関連業界を中心とした需要増の取り込みやVONA事業での積極拡販に努めた結果、好調に推移しました。

- 海外では、中国において経済成長の鈍化傾向が継続する中、EMSを含む製造業の新たな自動化需要の積極的な取り込みもあり、堅調に推移しました。一方、アジアでは台湾やアセアン地域での景気減速、アメリカでは自動車用金型需要の低迷などにより、全体として伸び率が弱含みました。

4. 2016年3月期連結業績は売上高・利益ともに引き続き過去最高を更新する見通し

- 2016年3月期の連結業績については、2015年5月14日公表の業績予想からの変更はありません。

2016年3月期 連結業績予想（2015年4月1日～2016年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり純利益※
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第2四半期（累計）	114,800	13,900	13,900	8,600	31.38
通期	242,000	27,100	27,100	16,900	61.67

※2015年7月1日付で、当社株式1株につき3株の割合で株式分割を行いました。

1株当たり純利益については、株式分割後の株式数で算定しています。

【業績予想に関する留意事項】

この資料に掲載されている2016年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2016年3月期 第1四半期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

<p>この件に関するお問い合わせ 株式会社ミスミグループ本社 経営総務室 IR担当 Tel : 03-5805-7037 Fax : 03-5805-7372 mail : cc@misumi.co.jp</p>
--